

**製品名: プレキシシン A1 (3J3) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe16268**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, FC 1:20-1:50
分子量	211kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PLXNA1
別名	NOV; NOVp; Plexin-A1; Plexin1; PlexinA1; PLXN1; Plxna1;
遺伝子 ID	5361.0
SwissProt ID	Q9UIW2
免疫原	ヒトプレキシシン A1 の合成ペプチド

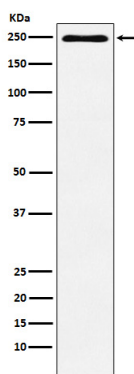
**背景**

軸索誘導、浸潤性増殖、細胞遊走に関与する。SEMA3A、SEMA3C、SEMA3F、およびSEMA6Dの共受容体。クラス3セマフォリンによるシグナル伝達とそれに続く細胞骨格のリモデリングに必要。軸索誘導、浸潤性増殖、細胞遊走に関与する。クラス3セマフォリンは、ニューロピリンとプレキシンからなる複合体に結合する。プレキシンは、特定のセマフォリンに対する複合体の親和性を調節し、その細胞質ドメインは細胞質における下流シグナル伝達イベントの活性化に必要である（類似性による）。

## 研究分野

神経科学

## 画像データ



HUVEC 細胞溶解物中の Plexin A1 発現のウェスタン ブロット分析。